

学校関係者評価委員会 委員長 丸山 良男 印

1 学校関係者評価委員会（学校評議員会）の構成

- ① 丸山 良男 北区青少年滝野川西地区委員会委員長 滝野川中央自治会長
- ② 鳴川 智久 元東京都教育庁次長
- ③ 榎本 文子 北区滝野川東地区保護司
- ④ 加藤 和宣 北区青少年滝野川東地区委員会委員長 馬場自治会長
- ⑤ 飯岡 潤一 本校第 3 代 P T A 会長 本校スクールサポーター
- ⑥ 丸 博至 本校第 6 代 P T A 会長
- ⑦ 森 健太郎 本校現 P T A 会長

2 学校関係者評価委員会（学校評議員会）の主な活動

- 6 月 1 8 日（土） 第 1 回委員会
 - ・ 委員（学校評議員）顔合わせ
 - ・ 今年度の学校経営方針について説明
 - ・ 協議及び意見交換
- 1 0 月 2 2 日（土） 第 2 回委員会
 - ・ 文化発表会（舞台部門）見学
 - ・ 協議及び意見交換
- 2 月 4 日（土） 第 3 回委員会
 - ・ 道徳授業地区公開講座への参加
 - ・ 学校評価アンケート結果及び来年度の目標等について説明
 - ・ 協議及び意見交換

3 学校関係者評価アンケートの集計結果と分析

委員からの回答は半数であったが、18 項目すべてにおいて概ね肯定的な評価を頂いた。
学校評価アンケートの保護者・生徒・教職員の結果については、多角的な視点からご意見を頂いた。（4 におもな意見を記載）

4 学校や生徒の状況に対する意見（第3回委員会での意見交換より）

- ・進路指導に対する保護者の肯定的評価が50%を下回っていることは心配である。1, 2年の保護者は分からない部分が多いのでマイナス評価が多くなったのだと思う。3年生の保護者の肯定的評価は60%以上になっていることは公表すべきだ。
- ・生徒一人一人の特性を踏まえた進路決定のためのアドバイスを充実させてほしいという声をよく聞く。高校受験は家庭にとって非常に重大なことであり、また不安も大きいので、よりきめ細やかな情報を求めているのだと思う。
- ・昨年に引き続きアンケート結果がマイナスが強く出たのは、コロナ禍のために保護者や家庭にやり場のない不安や不満があったからではないか。
- ・マイナス評価になっている項目は裏を返せば学校にさらに頑張してほしいという保護者生徒の願いがこもっている部分だと考える。評価アンケートの結果をしっかりと来年度の学校経営に活かしてほしい。
- ・コロナ感染予防のため教育活動制限が少しずつ緩和の方向に向かっているが、今後も安全安心を最優先して生徒たちの力を伸ばす取組を工夫して行ってほしい。
- ・子ども食堂などを通して子どもたちの課題や家庭の問題などの情報が入ってくる。学校と情報を共有する場面を持ち、学校と連携を深めていきたい。子どもたちの健全育成には児相や子家セン等の関係機関、地域、家庭保護者、学校の連携が不可欠である。
- ・地域行事も徐々に再開していくと思われる。行事や取り組みを通して、地域と学校の連携を深めるためしてほしい。
- ・どの学年も生徒が主体となって考え、仲間と話し合っただけで考えを深める道徳の授業が行われていて感心した。今後も道徳授業を中心に心の教育を充実させてほしい。
- ・保護者の授業参観が少なく、また道徳授業地区公開講座の協議会への保護者の参加も少ないことがとても気になった。学校側の保護者の来校を増やす工夫も必要であるが、保護者には実際に子どもたちの授業の様子や先生方の指導方法等を見て教育活動を評価すべきである。